

2022年度版
日商簿記 2 級講座
商業簿記編



企画・制作 簿記塾オッジ
〒 862-0924 熊本市中央区帯山 5-18-12
電話 096(382)1228
<http://www.bokijuku.com>

本書の無断複製・無断転載は禁止いたします。本書を使用して
講義・セミナー等を実施する場合には、弊塾宛許諾を求めてく
ださい。

第1章 現金預金

1-1 現金勘定

現金	
増加 (+)	減少 (-)
} B/S 計上額	

現金とは、通貨および現金同等物のこと。

①通貨 ②他人振出の小切手 ③送金小切手 ④郵便為替証書 ⑤配当金領収書 ⑥期限の到来した公社債の利礼^{りきつ}

[例] 決算に際し、配当金領収書 50,000 円、期限到来済みの社債利礼 30,000 円が未処理であったため、修正仕訳を行った。

借方		貸方	
現金	80,000	受取配当金	50,000
		有価証券利息	30,000

1-2 銀行勘定調整表

銀行勘定調整表とは、銀行の残高証明書と会社の当座預金出納帳残高のくい違いを確認するために作成する表。一般的に決算手続きとして行う。

◎銀行勘定調整表は3種類!

- (1) 銀行残高 → 会社残高に一致させる。
- (2) 会社残高 → 銀行残高に一致させる。
- (3) 会社残高 → あるべき残高 (B/S 計上高)
- 銀行残高 → あるべき残高 (B/S 計上高)

◎銀行勘定調整表に基づいて行われる修正仕訳

調整表に基づき会社残高を「あるべき残高」に修正し、修正後の金額を貸借対照表価額とする。なお、検定試験で出題されやすい修正項目として未渡小切手の処理がある。

未渡小切手とは、小切手の振出時に当座預金の減少処理が済んでいるにも関わらず、企業側のミスで支払先に渡していないものをいう。したがって修正が必要となるが、ケースによって修正のしかたが異なるので注意が必要である。

(1) ケース 1

①買掛金¥80,000 を小切手を振出して支払った。

借方		貸方	
買掛金	80,000	当座預金	80,000

②決算時、上記の小切手が未渡しだったことが判明した。

借方		貸方	
当座預金	80,000	買掛金	80,000

(2) ケース2

① 広告料¥50,000 を小切手を振出して支払った。

借方		貸方	
広告料	50,000	当座預金	50,000

② 決算時、上記の小切手が未渡しだったことが判明した。

借方		貸方	
当座預金	50,000	未払金	50,000

※ 広告料（費用）は発生しているため、費用の取消しにはならない。したがって、広告料の未払いとすること。

その一方で、企業側での修正が不必要なもの（銀行残高を修正すべき事柄）には、①未取付小切手・②未取立小切手・③時間後預け入れによる銀行翌日記帳分などがある。

① みとりつけこぎって 未取付小切手

小切手を振出して相手先に交付したものの、未だ当座預金口座から引落がないもの。

② みとりたてこぎって 未取立小切手

受け取った小切手を金融機関に持ち込んだものの、未だ取立（当社の当座預金口座への入金）が行われていないもの。

③ 時間後預け入れによる銀行翌日記帳分

銀行の営業時間外に当座預金口座へ預け入れたため、記帳処理が翌日の日付になっているもの。

※参考

さきひづけこぎって
先日付小切手

振出日記入欄が振出日より先の日付の小切手のこと。指定された日付以降でなければ換金できないため、手形と同様に扱う。したがって、先日付小切手の受取時には現金勘定ではなく受取手形勘定で処理をすること。

① 売上代金として小切手¥70,000 を受け取った。

借方		貸方	
現金	70,000	売上	70,000

② 決算時、上記の小切手が先日付小切手であることが判明したため、修正仕訳を行う。

借方		貸方	
受取手形	70,000	現金	70,000

[例題] 下記資料から3種類の銀行勘定調整表と決算修正仕訳を示しなさい。

1. 銀行残高証明書の残高 ¥950,000
2. 当座預金出納帳の残高(当座預金勘定の残高) ¥705,000
3. 不一致の原因として次の事項が判明した。
 - ①仕入先へ振り出した小切手で銀行で未払いのもの(未取付小切手)。
八代商店渡し ¥60,000 玉名商店渡し ¥40,000
 - ②得意先人吉商店からの当座振込み ¥200,000 が当店に未達。
 - ③当座借越の利息 ¥5,000 の引き落としが当店に未達
 - ④3月31日決算日に現金 ¥50,000 を預け入れたが、銀行では翌日預け入れとて処理された(時間後預け入れ)。

[解答]

【1】銀行残高 → 当座預金残高に一致させる方法(銀行残高基準法)

銀行勘定調整表(平成○年3月31日)

	内訳	金額
銀行残高証明残高		950,000
加算： ③借越利息未記入		5,000
④時間後預入れ		50,000
計		1,005,000
減算： ①未取付小切手		
八代商店渡し	60,000	
玉名商店渡し	40,000	100,000
②当座振込未記入		200,000
当座預金出納帳残高		<u>705,000</u>

銀行残高	950,000
③	5,000
④	50,000
①	- 100,000
②	- 200,000
当座預金残高	<u>705,000</u>

【2】当座預金残高 → 銀行残高に一致させる方法(企業残高基準法)

銀行勘定調整表(平成○年3月31日)

	内訳	金額
当座預金出納帳残高		705,000
加算： ①未取付小切手		
八代商店渡し	60,000	
玉名商店渡し	40,000	100,000
②当座振込未記入		200,000
計		1,005,000
減算： ③借越利息未記入		5,000
④時間後預入れ		50,000
銀行残高証明残高		<u>950,000</u>

当座預金残高	705,000
①	100,000
②	200,000
③	- 5,000
④	- 50,000
銀行残高	<u>950,000</u>

【3】 銀行残高 → あるべき残高, 当座預金残高 → あるべき残高に一致させる方法 (両者区分調整法)

銀行勘定調整表 (平成〇年3月31日)

摘要	金額	摘要	金額
銀行残高証明残高	950,000	当座預金出納帳残高	705,000
加算：④時間後預入れ	50,000	加算：②振込未記入	200,000
計	1,000,000	計	905,000
減算：①未取付小切		減算：③借越利息未記入	5,000
八代商店 60,000			
玉名商店 40,000	100,000		
	900,000		900,000

[修正仕訳]

②

借方	貸方
当座預金 200,000	売掛金 200,000

③

借方	貸方
支払利息 5,000	当座預金 5,000

1-3 銀行勘定調整表の解法手順

銀行勘定調整表は上記【1】～【3】の、いずれのパターンの調整表であっても以下の手順で作成することができる。

◎ STEP1 下図のように銀行残高と当座預金出納帳残高の2つのT勘定を作成する。

銀行残高		当座預金残高	
T/B 950,000	← 不一致 →	T/B 750,000	

◎ STEP2 当店側で行うべき修正・銀行側で行われるべき修正をそれぞれの勘定に記入し、勘定残高（本来のあるべき残高）が一致するかを確認する。残高が一致しない場合は、修正が間違っていることを意味するため再度修正項目を見直す。

銀行残高		当座預金残高	
T/B 950,000	① 100,000	T/B 750,000	③ 5,000
④ 50,000	残高 900,000	② 200,000	残高 900,000

あるべき残高が一致すればOK!

※この状態を調整表にしたものが【3】の両区分調整法による銀行勘定調整表となる。

◎ STEP3 【1】銀行残高基準法や【2】企業残高基準法の銀行勘定調整表を作成する場合は、前ページの勘定図を下図のように内側グループと外側グループにグループ分けする。(※グループ分けの理由は授業にて別途解説)

銀行残高		当座預金残高	
T/B 950,000	① 100,000	T/B 750,000	③ 5,000
④ 50,000	残高 900,000	② 200,000	残高 900,000

◎ STEP4 【1】銀行残高基準法の場合は銀行残高¥950,000と同じグループ(赤枠内)の調整項目③④を加算項目、もう一方のグループ(青枠内)の調整項目①②を減算項目として計算する。

また、【2】企業残高基準法の場合は当座預金残高¥750,000と同じグループ(青枠内)の調整項目①②を加算項目、もう一方のグループ(赤枠内)の調整項目③④を減算項目として計算する。

【1】銀行残高基準法

$$\text{銀行残高} \text{ ¥}950,000 + \text{③ } 5,000 + \text{④ } 50,000 - \text{① } 100,000 - \text{② } 200,000 = \text{当座預金残高} \text{ ¥}705,000$$

銀行残高	950,000
③	5,000
④	50,000
①	- 100,000
②	- 200,000
当座預金残高	<u>705,000</u>

銀行勘定調整表(平成〇年3月31日)

	内訳	金額
銀行残高証明残高		950,000
加算： ③借越利息未記入		5,000
④時間後預入れ		50,000
計		1,005,000
減算： ①未取付小切手		
八代商店渡し	60,000	
玉名商店渡し	40,000	100,000
②当座振込未記入		200,000
当座預金出納帳残高		<u>705,000</u>

【2】企業残高基準法

$$\text{当座預金残高} \text{ ¥}705,000 + \text{① } 100,000 + \text{② } 200,000 - \text{③ } 5,000 - \text{④ } 50,000 = \text{銀行残高} \text{ ¥}950,000$$

当座預金残高	705,000
①	100,000
②	200,000
③	- 5,000
④	- 50,000
銀行残高	<u>950,000</u>

銀行勘定調整表(平成〇年3月31日)

	内訳	金額
当座預金出納帳残高		705,000
加算： ①未取付小切手		
八代商店渡し	60,000	
玉名商店渡し	40,000	100,000
②当座振込未記入		200,000
計		1,005,000
減算： ③借越利息未記入		5,000
④時間後預入れ		50,000
銀行残高証明残高		<u>950,000</u>